



# 工業会

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)



発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会  
 〒101-0047  
 東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F  
 電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961  
 URL : <https://www.jandt.or.jp/>  
 編集 : 広報部会

## 令和5年度 定時総会を開催

6月26日、東京都千代田区内の如水会館において第26期第52回定時総会が、正会員156社（正会員54名、委任状102名）が出席し開催された。

総会に先立ち、長岡康之理事長は、「就任にあたり事業の継承、会員相互のコミュニケーションの活性化、会員満足を3本の柱に掲げた。そのなかで、繁忙期の人材手配、閑散期の仕事の確保、技術的に困った時の相談、新技術・新商品の紹介などを目的として、SNSを活用したデジタル伝言板を新たに立ち上げ、運用を開始する。また、会員からのアンケートによる要望事項を得て、まずは会員同士の交流、技術・人材育成、講習会に焦点をあてるとともに、順次、会員満足の実現に向けた活動を推進していく。このような活動を通じて魅力ある団体を目指すので、今後とも当工業会の活動に対してご理解と協力をお願いします。」と挨拶した。総会では、第1号議案である令和4年度事業報告及び第2号議案である財務諸表等並びに監査報告について審議され、満場一致で承認された。続いて令和5年度事業計画・収支予算書が報告された。

その後に開催された懇親会では、各界から140名を超えるご出席をいただいた。ご来賓は、古屋範子衆議院議員並びに秋野公造参議院議員、佐々木さやか参議院議員、三浦のぶひろ参議院議員、竹谷とし子参議院議員が駆けつけ、秋野先生からは「思い起こせば平成26年に「インフラ調査士」資格創設を要望し、令和5年度にインフラ調査士を含む登録資格者の配置が義務化されたことで実を結んだ。いまや全省庁を通じて非破壊検査の重要性が認識されるに至った。今後により一層のご活躍を祈念する。」と祝辞をいただ



定時総会のもよう



懇親会のもよう

いた。引き続き、国土交通省道路局の丹羽克彦局長は「少子高齢化による技術者不足が深刻化する中、インフラDXに取り組む国交省としては、整備・管理の効率化とクオリティー確保のために、非破壊検査技術が現場で使用されるよう浸透させていきたい。」と、経済産業省製造産業局の安田篤産業機械課長は「GX・DXに取り組む経産省は、水素などのクリーンエネルギー用に新設される設備の点検・診断やスマート保全を推進するために非破壊検査技術が果たす役割は大きい、今後もGX・DXの推進に向け非破壊検査工業会と連携して取り組んでいく。」、日本非破壊検査協会の井原郁夫会長は「工業会と当協会がより良いかたちで手を携え連携し、非破壊検査のプレゼンス向上とお互いの事業の発展を図り、我が国の安心安全な社会の構築と維持に貢献するべく、重要な社会的責務を果たしていきたい。」と挨拶をいただいた。

来賓挨拶を経て、日本溶接協会の栗飯原周二会長は「製造業だけでなくあらゆる分野で人材不足が深刻化している。世間一般的に非破壊検査や溶接は馴染みが薄い、そのため他団体と協力して人材確保に努めることが肝要であり、工業会とはこれからもより連携を図りたい。」と挨拶し乾杯が行われ、5類移行により人数制限のない懇親会が盛大に行われた。



長岡康之  
理事長



秋野公造  
財務副大臣



丹羽克彦  
国土省道路局局長



安田篤  
経産省製造産業局産業機械課長



井原郁夫  
JANDT会長



栗飯原周二  
JWES会長

[本年度総会での表彰]

技術奨励賞

株式会社IHI検査計測

(表彰理由) 京都大学インフラ先端技術産学共同講座の一環として、トラス橋を対象にした穿孔法による耐力評価および自社開発のFPBセンサによる無線計測モニタリング技術の適用を図るなど、各種非破壊モニタリング技術の確立に貢献し、その事例を開発委員会等で報告するなど、産官学が連携した活動により非破壊検査技術の発展と普及に貢献されました。

## 東日本支部 令和5年度 支部定期大会を開催

6月22日、東日本支部の支部定期大会が参加者19名のもと広島県広島市の「ひろしま国際ホテル」で開催された。渡邊正宏支部長は日頃より工業会活動に対する協力への謝辞と、多忙のところ定期大会が行われることについての経緯を述べた。次に、業界を取巻く環境に触れ「近年、消費者物価指数は上昇傾向を示し、光熱費等の上昇も相まって賃金の上昇が望まれると連日報道されている。一方で当業界は、人手不足が慢性化している状況にある中、各社ともに求人についても極めて厳しいと聞く、については会員間の情報交換や協力体制を更に強めていただければ幸いである。また、今年度の本部事業に於いても「工業会119」と題し、技術者応援情報や空き情報等の交換や、技術相談並びに検査機器等の紹介ができる情報提供サービスが展開される。こちらも是非とも活用していただきたい。東日本支部では、支部の運営システムの合理化や委員会活動の活性化を図り、支部活動を通じて社会の安全安心に資する所存である。」と挨拶を行った。その後、場所を移した懇親会では和やかな雰囲気の中で歓談がなされ、長岡康之理事長のもと中締めとなった。



世界遺産:安芸の宮島 厳島神社にて

## 関西支部 令和5年度 支部定期大会を開催

6月1日、令和5年度関西支部定期大会は、兵庫県洲本温泉「淡路 夢泉景」にて、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い制約なく開催され26名が参加した。

錦戸陽介副支部長の開会宣言に続き挨拶に立った富田裕樹支部長は、冒頭で支部事業活動に対する各社の協力に謝辞を述べた後、景気動向にふれ「4月の段階で近畿経済産業局は、近畿経済について、一部に弱い動きもみられるものの緩やかに持ち直しており、生産や個人消費は持ち直し傾向、設備投資も緩やかに増加しているとの見解を示した。非破壊検査業界は需要に底堅さもあるが、賃上げ等の問題に取り組んでいく慎重な経営が必要であると思われる。また、令和4年度の本部事業は「創立50周年記念式典」の開催をはじめ、「認証事業」「教育事業」等のオンライン化に向けた活動を推進した。令和5年度は7月に開催される「社会インフラから文化財まで」をテーマとした非破壊評価総合展等への積極的な参加をお願いしたい。」と挨拶した。

続いて、令和4年度の事業及び決算等の報告や令和5年度の事業計画及び収支予算等が各担当幹事より報告された後、安全衛生功労者表彰等の表彰が行われ支部大会は終了し、検査機器の紹介では、KS-NETよりドローン搭載可能な無線式超音波パルサーレーザ等についての説明があった。

会場を移し、川崎博義幹事の司会のもと錦戸副支部長の乾杯の音頭で懇親会が開宴した。和やかな歓談で親睦を深め、山中伸晃幹事の中締め挨拶で散会となった。翌日は、淡路カントリークラブにて親睦ゴルフコンペの予定であったが、台風2号の影響でやむなく中止となった。



富田裕樹  
支部長



支部大会の模様

IICは、正確な検査・計測サービスで  
あらゆる分野に貢献します。



航空  
宇宙 環境 発電  
自動車 食品 ヘルスマニタリング

IHI Realize your dreams

株式会社 IHI 検査計測 営業統括部  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3  
TEL:03-6404-6033 FAX:03-6404-6044  
www.iic-hq.co.jp

K 経験豊富な実績

E 笑顔で、業務に取り組みます

I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします

放射線透過試験/超音波探傷試験/磁粉探傷試験/浸透探傷試験  
過流探傷試験/漏れ探傷試験/レーザ探査/気密・耐圧試験

**KEI** 京浜検査工業株式会社

原子力規制委員会使用許可・C I W 認定業者

本 社 : 横浜市金沢区福浦2-6-10

TEL : 045-701-2072 FAX : 045-784-4100

山形営業所 : 山形県南陽市若狭郷屋253-2

TEL : 0238-43-8100 FAX : 0238-43-8108

## 西日本支部 令和5年度 支部大会を開催

6月9日に西日本支部は、33名出席のもと北九州市小倉北区の「リーガロイヤルホテル小倉」にて、野口博文副支部長の司会により令和5年度支部大会を開催した。

冒頭の挨拶で清水重之支部長は、ウクライナ侵攻に伴う原材料高やエネルギー安全保障など景気後退が懸念される中、気象災害リスクやカーボンニュートラル社会への取組みが必要と訴えた。また、社会的地位と信頼性を高め、より魅力的な団体とするべく「仕事の市場」WGを立ち上げ、技術者応援や技術相談並びに機器紹介等の情報を共有する掲示板を準備すると述べた。来賓挨拶で長岡康之理事長は、昨年実施したアンケート結果に基づき、「会員相互の交流」と「人材育成・講習会」の2項目を優先して対応する。他の項目についても順次担当部会を決め、丁寧に対応していくと述べた。

次に、令和4年度の活動報告並びに令和5年度の事業計画等が報告された。懇親会では、清水支部長及び長岡理事長に続いて、斉藤鉄夫衆議院議員の稲田隆則秘書、秋野公造参議院議員の前田洋秘書、塩出麻里子福岡県議会議員、中島隆治北九州市議会議員、国交省九州地方整備局の小林秀典技術開発調査官並びに同北九州国道事務所の掛田信男所長、村山理一日本非破壊検査協会九州支部長にご挨拶をいただいた。松村康人顧問の乾杯音頭で開宴し、参加者が親睦を深める中、野口副支部長の中締めで散会となった。



清水重之  
西日本支部長



長岡康之  
理事長

## 機材支部 令和5年度 支部定期大会を開催

機材支部定期大会は、6月9日に大田区産業プラザにて18社30名出席のもと対面形式で開催された。感染法上の位置付けが5類感染症となったことで、コロナ禍前のように対面形式で人数制限なく開催することができた。

林利昭幹事による開会宣言の後、猿渡保支部長は昨年度の機材支部活動について「コロナ禍ではあったが、期初の計画通りに講習会やセミナー等を開催できたことは、会員のご協力の賜物と深く感謝する。」と謝辞を述べ、コロナ禍で中止となっていた「フェーズドアレイ超音波探傷器講習会」や「新入社員のための非破壊検査基礎講習会」も対面形式で開催できたとの報告があった。また、今期の取組みとして、「NDT 特別講座（渦電流探傷法）」、本部の「工業会119」等の取組について説明した。

引き続き、各会務担当による令和4年度の事業報告などや令和5年度の事業計画などが報告された。特別講演は横浜国立大学の笠井尚哉准教授より「社会・産業プラントの保守検査に適用可能なモニタリング技術」と題し、非破壊検査手法に関する長年の研究成果についてご報告いただいた。閉会に際し、岡賢治副理事長は「機材支部の検査機器を使用して安全・安心な社会の貢献していく。」と述べ閉会となった。

場所を移しての懇親会は、猿渡支部長及び笠井先生の挨拶、舟久保利明監査の乾杯の音頭で開宴した。制限のない懇親会で、会員同士の情報交換と親睦の輪が広がり、美濃部光正副支部長の中締めで散会となった。



猿渡保  
機材支部長



特別講演  
横浜国立大学准教授  
笠井尚哉先生

## 豊かな経験・確かな技術

非破壊検査全般 ◆ 建築物設備配管劣化診断 ◆ コンクリート躯体調査・埋設物調査

**JASCO** 株式会社 **ジャスコ**  
JAPAN SKIAGRAPH CO., LTD.

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-23-3  
TEL 045(473)5140 FAX 045(473)5141  
札幌営業所 〒003-0833 札幌市白石区北郷3条11-4-20  
TEL 011-875-4166 FAX 011-875-0666  
E-mail: eigyou@kk-jasco.co.jp http://www.kk-jasco.co.jp/

アンカー工事  
スタッド  
ハツリ  
耐震補強

引張試験  
鉄筋探査  
レントゲン

ダイヤモンド販売  
コアビット  
ハンドカッター販売  
カップサンダー販売  
道路用ブレード販売

ギスクリ  
工事  
打設

社団法人日本建設あと施工アンカー協会加盟  
**中央総業株式会社**  
神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F  
☎ 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

## ドローンを活用した目視点検とAIによる画像処理技術の紹介

## ①はじめに

高度経済成長期に集中して大量に整備されたインフラ設備は、10年後の2033年3月には、道路橋で63%（約27万橋）、トンネルで42%（約5,000本）、下水道管で21%（約11万km）が耐用年数とされる50年を超えることとなる。技術者が不足している中で、従来通りの点検手法によるスピードでは、今後、増加する点検物量に対応することが難しいことは予測できる。この問題を解決するために、人の目で直接見る目視点検に代わる、高精度で効率的な点検手法や新技術の確立が必要である。本稿では、新技術の一つとして近年注目されている、ドローンを活用した目視点検における実績や技術を紹介する。

## ②ドローンの活用事例

2020年8月より、九州電力(株)（以下、九電）とドローン事業の業務提携を行った。本事例で点検を行った機体はすべて九電のものである。煙突内外面、ボイラー内の点検、その他にも目的に合わせた特殊ドローンなどを使用して、新たな点検手法の確立を取り進めている。この中から、九電の特許技術である自動飛行で行った、法面のひび割れ調査の実例を紹介する。横幅約40m×高さ約200mの法面の撮影を、2,080万画素の単焦点カメラを使用した場合、2日間かかる撮影をiMX100カメラ（1億画素）では、撮影準備を含め撮影終了まで4時間で完了している。

## ③画像処理技術と3Dモデルの活用

トンネル計測用車両のMIMM（図1）で培われた画像処理技術を、ドローンによる目視点検へ利用している。撮影した映像や画像を最終的に全景写真のように1枚の展開画像に上げることや、その展開図にひび割れ、漏水、遊離石灰、その他変状を記入することも可能である。さらに、任意のひび割れ幅に応じて色分け分類され、開口幅の数値が表示される（図2、3）。

現在、トンネル点検（MIMM）においては損傷箇所の自動抽出（AI）が実用化しており、ドローンへの利用を段階的に進めている。AIについては、コンクリート以外にもメタル関係への取り組みを行っている。主に腐食、割れ、ボルトの脱落の抽出を対象に検証を行っており、実用化に至るには更なる教師データと学習が必要と考える。

現状の報告書提出様式は、撮影データの提出と紙媒体の報告書が主流である。そのため全景から異常箇所の概算は把握できるが、数が多い場合は別紙にある詳細写真の確認に労力を要する。そこで3Dモデルを用いて、前述の問題を解決する報告書を考案した。

3Dモデルにすることで360°から異常箇所の確認が可能になり、タブとして示すことで、全体量や分布の把握が容易となる（図4）。

タブをクリックするとポップアップウィンドウで拡大写真が出てくるため、詳細確認も容易である（図5）。ドローンとAIを含む新技術による点検業務は、今後、日本のインフラ維持に欠かせない手法になる事が予想される。そのため、当社は今後も課題を解決し、更なる効率的な手法の確立を目指していく。



図1：トンネル計測用車両(MIMM)



図2：ひび割れ分類ソフト解析結果

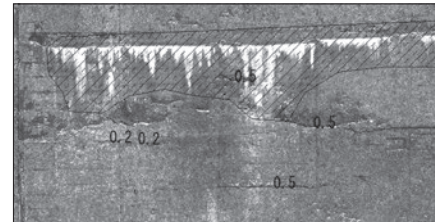


図3：損傷入力後

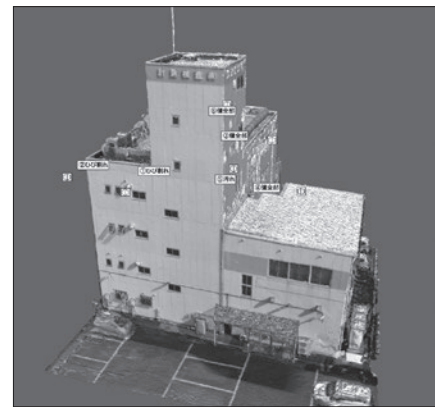


図4：当社 社屋(全体)

図5：当社 社屋  
(損傷箇所のポップアップウィンドウ)

問合せ先：計測検査株式会社 検査部 中村 月影

TEL：093-642-8231 FAX：093-641-2579

E-Mail：tsukikage-nakamura@keisokukensa.co.jp HP：https://www.keisokukensa.co.jp/

## 「インフラ点検技術講演会」開催

当工業会は4月24日、川崎市幸区の川崎市産業振興会館において「維持管理の高度化」をテーマに「インフラ点検技術講演会」を開催した。インフラ維持管理の高度化・効率化及び非破壊検査技術の最新動向について、第一人者による基調講演1件・特別講演4件の講演会に121人が参集した。

主催者を代表して長岡康之理事長は「今年度より、国交省直轄管理の橋梁点検には有資格者の配置が義務化された。目的は、点検技術の向上と信頼性の確保であり、インフラ点検の重要性が認められたものである。本日の講演会で、点検の重要性や新たな検査手法などの研鑽の場となることを期待する。」と挨拶した。

冒頭の基調講演では、大阪大学大学院社会基盤設計学領域の鎌田敏郎教授による「インフラ構造物の新しい診断手法」と題し、コンクリートダムの水平打継目について、ダム頂部をハンマーで叩いて弾性波で診る手法やPC橋梁の健全度の調査としてグラウド充填状況を電磁パルスで叩いて電磁場応答で診る手法を紹介した。

続いての特別講演は、建設コンサルタンツ協会維持管理対策WGの石原晃一委員（日本工営）による「インフラ維持管理の高度化・効率化に関わる技術動向について」と題し、点検記録作成支援ロボットやインフラモニタリング技術、同協会が推し進めるアセットマネジメントへの取り組みなどを紹介した。

休憩後は、ドローン測量教育研究機構代表理事である大西有三京都大学名誉教授による「インフラ点検・維持管理とDX」と題した特別講演が行われた。大西名誉教授は「笹子トンネル事故を契機にインフラの老朽化と維持管理がクローズアップされたが、技術者の高齢化や予算不足に直面している。基本は近接目視であるが、インフラの状態を測りデータベースを整備することで、画像解析・ICT・IoT・AI等の利活用が可能となり人材不足等に対処できる。また、更なる生産性向上ツールとしてBIM/CIMを提案する。」と講演した。



講演会のもよう

次に、当工業会のインフラ調査士講習会委員会の平手克治委員長より「点検に関わる非破壊検査の最近の技術動向について」と題し、鉄筋腐食探知の新技術（CEPRA法）やアンカーパルステスター及び橋梁定期点検調書作成支援システムを紹介した。

特別講演の最後は、国土交通省道路局国道・技術課の新田恭士技術企画室長より「インフラ点検の現状と課題」と題し講演が行われた。新田室長は、「インフラの老朽化対策として国は予防保全型に転換したが、更なる省力化・生産性向上には新技術の活用が必要である。国交省は、新技術導入フローとして新技術導入促進計画を定め、技術基準を変えて重点的に導入する分野や求める性能を点検支援技術性能カタログとして公表している。また、昨年度から国が委託する点検業務には、カタログに掲載された技術の使用の検討を定めており、橋梁だけでなく様々な検査に新たな非破壊検査技術が導入されるものと考えている。」と講演した。

閉会に際し、当工業会の岡賢治副理事長は「今回の講演会が各企業の発展に資することとなれば幸いです。」と挨拶し、講演会は盛会のうちに終えた。また、後日実施したアンケートでも、DX化の流れの中で、インフラ点検の最前線や最新の技術動向に関する知見が深まり、有意義な講演会であったなどの意見が多く寄せられ、参加者の80%から大変満足したとの回答を得た。



長岡康之  
理事長



鎌田敏郎  
教授



石原晃一  
委員



大西有三  
名誉教授



平手克治  
委員長



新田恭士  
室長



岡賢治  
副理事長

## 令和5年度 第一回 NDT 特別講座を開催

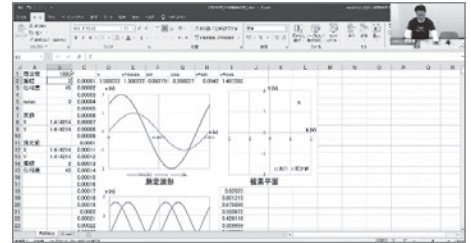
機材支部技術委員会(堀充孝委員長)は、6月23日に「NDT特別講座」をウェビナーで開催し、全国から30名が受講した。

職業能力開発総合大学の小坂大吾准教授を講師に迎え「楽しく学ぶ渦電流探傷」をテーマとして2時間の講義が行われた。タイトル通りの“楽しく”を基本にした講座は、ネオジウム磁石とアルミ板によるローレンツ力の実験や渦電流探傷装置を用いた材料判別と探傷試験の実演などの体験タイムをふんだんに盛り込んだ、趣向を凝らした講義内容であり受講生を飽きさせることのない、とても楽しい講義内容であった。受講生からの講義後のアンケートでも、多くの受講生が「大いに参考となった。」と答えている。

機材支部技術委員会としては、今回のNDT特別講座の経験を第2回、第3回へと繋げていければと考えている。



小坂大吾准教授と堀充孝委員長によるローレンツ力の実験



講義の模样

## 新入社員のための非破壊検査基礎講習会

機材支部計測分科会は、東日本支部技術委員会の協力を得て4月20・21日の両日、川崎市川崎区の日本溶接技術センターにて「新入社員のための非破壊検査基礎講習会」を開催し、検査会社や機材メーカー等から22名が受講した。非破壊検査の基礎及び理解・普及を目的とした講義と実習で構成した講習会は、毎年定員を超える応募があり盛況である。講習会は、新入社員や検査機器に触れることが少ない事務系職員などを対象とした初心者向けの内容となっており、非破壊検査概論や溶接に関する講義、各種の検査手法に関する基礎講習や実機を使用した実技講習も行われた。主催者を代表して堀充孝機材支部技術委員長(日本電磁測器)は「座学と実習を通して、いろいろなことを体験するなど積極的に楽しんで学んでください。」と、開講の挨拶を述べた。受講者は、講義に実習にと忙しく充実した2日間を過ごした。会社に戻り講習会で学んだことが一助になることを願っている。



座学講習の模样



PTの実習

|      | 1日目：講義・実習(テキスト配布)  | 2日目：講義・実習   |
|------|--|---|
| 講義内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●非破壊検査概論</li> <li>●溶接について</li> <li>●赤外線サーモグラフィ試験(TT)</li> <li>●磁粉探傷試験(MT)</li> <li>●浸透探傷試験(PT)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●超音波探傷試験(UT)</li> <li>●放射線透過試験(RT)</li> <li>●電磁誘導試験(ET)</li> <li>●配筋探査</li> <li>●アコースティックエミッション(AE)</li> <li>●ひずみ測定 他</li> </ul> |

お客様と社員に信頼される  
企業でありつづける



溶接検査株式会社

本社：〒985-0874  
宮城県多賀城市八幡2-16-10  
TEL：022-365-6040  
FAX：022-366-3556  
URL：http://yosetsukensa.com  
出張所：青森・山形・秋田

CIW認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術  
労働者派遣事業許可  
ISO9001 認証 JMAQA-1749



株式会社ダンテック

- 非破壊試験検査全般
- 各種プラント保守点検
- 品質管理
- 建築・土木構造物調査診断
- 各種設備・配管劣化調査
- 破壊試験・化学分析等材料試験

本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号  
TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707

## 西日本支部 DRT 講習会を開催

西日本支部は、会員アンケートに基づき「デジタルRT講習会」を2月13日福岡県工業技術センター機械電子研究所にて3年ぶりに開催した。

今回は、村田拓也(リガク)講師を迎え「デジタルラジオグラフィーのCRとDDAについて」と題し、デジタルラジオグラフィーの原理や特徴等の座学講習を午前、午後はIP(イメージングプレート)とフラットパネルで実際に撮影を行い、それぞれの特徴、長所短所等の説明があり受講者からは活発な質問があった。



講習会のもよう

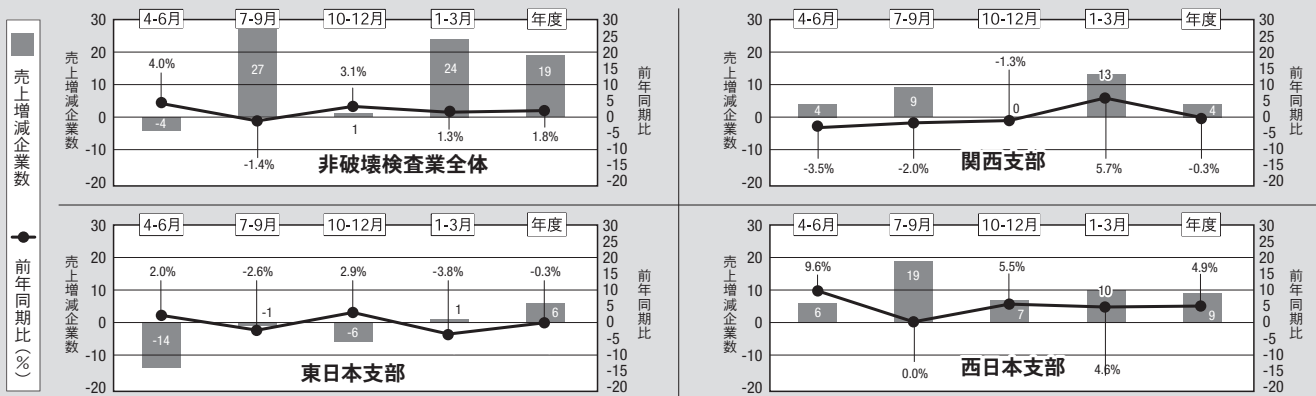
また、福岡県工業技術センター機械電子研究所所蔵の「マイクロフォーカスX線CTシステム」を見学するなど有意義な講習会となった。

講習終了後は西日本支部の清水支部長の挨拶で締めくられ、盛況のうちに終わることができた。

### 各支部会員 会社の景況感

令和4年度の定期月次売上調査の集計結果を前年同期との比較としてまとめ、下図に示す。売上増減企業数は、前年同期に対して売上の増加した企業数から、減少した企業数を減じた企業数を表す。また、前年同期比は、各支部の前年度売上高に対する増減の割合を表す。

非破壊検査業全体の売上高は、前年度比1.8%と微増を示し、WHOがパンデミック宣言(令和2年3月11日)をした令和元年度と比較しても、概ねコロナ禍前の水準に戻っている。また、売上が増加した企業数も過半数を超えており、改善の兆しが見受けられた。



非破壊検査・地盤調査の複合技術で  
社会基盤(インフラ)の安心と安全を守ります

## 東洋検査工業株式会社

- ☆ 非破壊検査全般、タンク開放検査、プラント保安検査
- ☆ インフラ調査(地中探査、トンネル点検、橋梁点検、構造物点検)
- 【ISO 9001認証・CIW認定・KHK認定・地質調査業者登録】

本社 〒640-8306 和歌山市出島 31-5  
TEL 073-471-1311 FAX 073-474-6211

詳しくは

支店/営業所 大阪/和歌山/鹿島



試験機校正受託サービス

最短納期  
5営業日

- ※対応機種は順次拡大中!
- DPG100・APCシリーズ
- TRシリーズは業界最短納期で校正いたします!
- ※2023年当社調べ



QUICK 校正ラボ

測定機器を最短納期で校正

自動見積りフォームをご活用ください

校正ラボ

株式会社トラスト 大阪支店 〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
TEL: 072-621-4172 WEB 919-cal.jp



“診る”を究めて

人と技術を「安全」という強固な絆で結び、「安心」を提供します。

## 新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号  
TEL: 093-581-1234 FAX: 093-581-4567  
東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-19  
渡林日本橋ビル 2F  
TEL: 03-6661-1307 FAX: 03-6661-1308  
https://www.shk-k.co.jp

## EVIDENT

腐食マッピングスキャナーの新モデル登場。  
新 HydroFORM スキャナー

NEW

- 1台で2軸の腐食マッピング
- 手元LEDが操作をガイド
- 高いカップリング安定性



QRコード [詳細はこちら](#)

株式会社エビデント ☎ 0120-58-0414 (フリーダイヤル) www.EvidentScientific.com

### 第18回 インフラ調査士資格試験を実施

5月18日インフラ調査士資格学科試験（一次試験・再試験）が東京・大阪で同時に行われた。

| 資格   | 橋梁(鋼橋) | 橋梁(コンクリート橋) | トンネル | 付帯施設 |
|------|--------|-------------|------|------|
| 受験者数 | 91名    | 99名         | 96名  | 100名 |
| 合格者数 | 70名    | 90名         | 77名  | 62名  |

【学科試験】 新規受験者数：88名、再試験者数：28名

【二次試験】 8月3日～4日 試験会場：川崎市産業振興会館（神奈川県川崎市幸区堀川町66-20）

### 第30回 配筋探査技術者資格試験を実施

6月1日「コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木）資格認証学科（一次）試験」が実施された。受験者情報は表のとおり。

|      | 関東  | 関西  | 九州  | 受験者合計 | 合格者 | 合格率 |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 受験者数 | 55名 | 61名 | 25名 | 141名  | 83名 | 59% |

| 実技(二次)試験日程予定 |           |           |          |
|--------------|-----------|-----------|----------|
| 受験地          | 関東(川崎市)   | 関西(大阪市)   | 九州(北九州市) |
| 日付           | 8月22日～23日 | 8月17日～18日 | 7月29日    |

#### 講習会開催情報

|              |              |            |                              |         |
|--------------|--------------|------------|------------------------------|---------|
| インフラ調査士講習会   | [教育部会]       | 4月14日      | オンライン (Zoom) のリアルタイム講習会      | 受講者 91名 |
| 配筋探査講習       | [教育部会]       | 4月3日～4月21日 | オンデマンド講習                     | 受講者 92名 |
| 非破壊検査基礎講習会   | [機材支部計測分科会]  | 4月20日～21日  | 日本溶接技術センター (川崎市川崎区)          | 受講者 22名 |
| 第1回 NDT 特別講座 | [機材支部 技術委員会] | 6月23日      | オンライン (Zoomウェビナー) のリアルタイム講習会 | 受講者 30名 |

**会員動向** 令和5年6月30日現在 196社（東日本支部78社、関西支部42社、西日本支部43社、機材支部33社）

**入会** ■東日本支部 株式会社スルガ検査 代表取締役 沖津博斗 〒410-0001 静岡県沼津市足高322-39  
 電話:055-927-3600 FAX:055-927-1851 E-mail:info@suruga-k.jp (令和5年5月1日付)

**小型・軽量で大画面**

ポータブル超音波探傷器  
**USFD-20**

★UT 実技試験 持込認定探傷器★  
 ・一般社団法人 日本非破壊検査協会  
 ・一般社団法人 鉄骨技術者教育センター

**安心の2年間製品保証!**  
 (最長5年までの延長契約あり)

寸法: 198×128×52 mm  
 重量: 0.84kg (バッテリー含む)

株式会社 KJTD  
 〒578-0912 大阪府東大阪市角田1丁目9番29号  
 大阪事業所 TEL (072)965-6231(代) FAX (072)962-6236  
 Email: usfdinfo@kjtd.co.jp URL: www.kjtd.co.jp

サンコウの測定器・検査機器  
**非接触膜厚計コートマスター FLEX**

◆ウェット/乾燥状態のコーティング層を非接触で測定可能!

**SANKO 株式会社サンコウ電子研究所**  
 東京: 03-3254-5031 大阪: 06-6881-1230 仙台: 022-292-7030  
 名古屋: 052-915-2650 福岡: 092-282-6801  
 URL: https://www.sanko-denshi.co.jp

MICROTEK フィルムデジタイザーシステム  
 SCAN THE WORLD

**NDT-2000**

特長  
 ● ISO14096 準拠フィルム濃度0.5～4.5まで対応  
 ● 分解能 最大1200dpi (21μm)  
 ● 幅2.5～14インチ、長さ2.5～200インチのフィルムサイズに対応  
 ● 軽量コンパクト設計  
 ● 150(170)～1200dpi (21μm) で読み取り分解能が選択設定可能

※NDT-2000は画像処理ソフト nPIAにて操作を行います。

ポニー工業株式会社  
 www.ponyindustry.co.jp  
 大阪 TEL 06-6262-6510 東京 TEL 03-5472-1091

非破壊検査機器の**販売・修理・校正・レンタル**

工業用X線発生装置 超音波探傷器USM100 超音波厚さ計DM5E

支える、の一番近くに。

**RIKOH-S** 理工サービス株式会社  
 〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号  
 TEL: (082)292-2552(代) FAX: (082)295-0566  
 E-mail: rikoh@rikoh-s.com URL: http://www.rikoh-s.com/